

オーストラリア競馬概要 2

セリ

個人馬主天国なだけあって競走馬のセリがとても盛んです。大手馬主による庭先取引もありますが、2020年度のG1勝ち馬の80%がセリ出身であることが示すように(日本は18%)夢があることも魅力の一つです。

セリは**マジックミリオンズ社**と**イングリッド社**によって行われるものが有名で年に何度も開催されます。

これらのセリ出身馬限定のレースでは国内有数の高額賞金が生まれ、時としてG1以上の人気を博します。

カマバッカ王国

種牡馬として需要がなさそうな牡馬の8割は去勢されるオカマ天国です！日本では主に気性を穏やかにするために去勢しますが、オーストラリアの場合は筋肉がつき過ぎるのを防ぎ競走寿命を延ばす目的が大きいです。

オーストラリアでは早熟でデカイ馬がとにかく好まれます。そのため前胸や首がムッキムキになりやすく、前脚への負担が大きくなりがちなんです。

基本情報

1. 開催 1

オーストラリアではほぼ365日競馬が開催されています。中央競馬と地方競馬が足された物であると考えて下さい。基本的に平日より週末のほうが賞金も格も高いです。また平日の中でも週中の水曜日にも賞金が比較的高くG1が行われることもあります。

それとは別に主催側にも**メトロポリタン(都市競馬)**、**プロビンシャル(郊外競馬)**、**カンントリー(田舎競馬)**という3つの格がありメトロポリタンが最高格です。とんだ地域差別ですね！日本の中央と地方とは違い行き来は自由で、預託料を抑えたいから強くてもプロビンシャルやカンントリーに留まる！みたいなことも可能らしいです。

3つの格それぞれにクラスやハンデ戦が組まれていますが主催ごとに異なります。日本ほど下級条件が分かりやすい国ってなかなかありませんね。

ここまですと、

開催場：メトロポリタン>プロビンシャル>カンントリー

開催日：週末>(週中)>平日

といった具合にレベルや賞金が高いです。

2. 開催 2

オーストラリア競馬は日本競馬と同じく1年の中でも特に春秋を中心としてビッグレースが組まれています。

秋(3月)は**NSW**が、**春(10月)**は**VIC**が中心です。

一流馬は春秋がつつり使い夏冬休みます。そういう点も日本と似てますね。

3. 目標

各馬の最大目標は3月に行われる2歳戦**ゴールドスリッパー**です。馬主の目標は2歳戦で活躍して大手牧場に高額で販売したり繁殖入りさせることですね。香港なんかからオファーがあることも。

オーストラリア競馬全体を統括しているレーシングオーストラリア曰く**ゴールドスリッパー**、**メルボルンC**、**コックスプレート**、**コーフィールドC**を**主要4大競走**と位置づけていますが、やっぱり**ゴールドスリッパー**だけは特別です。

4. レースの使い方

オーストラリアではレースに出ることで馬を強くするという意識が世界でも最も高く、かなり多くのレースに出走することで有名です。

中一週が当たり前、連闘すらも平然とおこなわれます。

5. トライアル

オーストラリア競馬独自のシステムとして**トライアル**というものがあります。簡潔に言うと、レース形式の調教です。

主催が公式に行い、中身もただのレースです。一応各馬の戦績にも公式に記載されます。2歳馬はデビュー前に**トライアル**に出走することが義務づけられ、休養中や休養明け時にも盛んに走ります。そういう意味では地方競馬の能力検定やデビュー戦みたいな意味合いも持ちます。

実はかの**Winx**も**トライアル**を使う際は普通に負けています。日本ではあまりこういう情報は入ってきませんね。

オーストラリアは基本競馬場で調教を行うので坂路のような強度の高い調教ができません。なのでレースをすることが1番の調教となるわけで前哨戦としてG1を使うこともザラだったりします。